

温かい支援に感謝

市連合町内会が、登別市社会福祉協議会と連携して行った『平成30年北海道胆振東部地震』による被災者支援のための募金活動に94町内会より、54万4千25円という多額の善意をいただきました。寄せられた義援金は、登別市共同募金委員会を通じて、被害の大きかった地域の皆さんの生活再建に、活用していただきます。

市連合町内会

会長 中川 信市



姉妹都市のつながり

市連合町内会は、平成30年10月25日(木)・26日(金)に白石市で、連携協定を結んでいる白石市自治会連合会と海老名市自治会連絡協議会との情報交換会を行い、その場で、両団体から『平成30年北海道胆振東部地震』に対する見舞金75万円をいただきました。この見舞金は、防災資機材の購入に活用してもらうため、市に寄付しました。

市連合町内会

総務部会長 工藤 保秋



鍋をつついて深める交流

新生北町内会は、65歳以上の一人暮らしの方を対象に『ふれあい会食会』を開催しています。今回は、一人暮らしでは調理する機会の少ない『鍋料理』。会場には、湯気とともにおいしい匂いが広がり、参加者は、思う存分、食事を楽しみました。また、この会食会は、町内会役員や民生委員児童委員との相談の場にもなっています。

新生北町内会

会長 合田 和彦



地震による停電を受けて

新生町三丁目町内会は、『平成30年北海道胆振東部地震』を教訓に、全14世帯にランタンを無償で配布しました。

地震による停電のときには、ろうそくを使用する世帯もあった同町内会。火災による被害を減らすため、懐中電灯の機能を併せもつランタンを、一世帯ずつ使用方法を説明しながら手渡しました。

新生三丁目町内会

会長 中山 晃一

